

令和 8 年度

公立高等学校入学者選抜
学力検査の分析結果

宮城県教育委員会

ま え が き

本報告は、令和8年度宮城県公立高等学校入学者選抜における第一次募集本試験（令和8年3月4日実施）の結果について、分析及び考察を示したものです。

公立高等学校の入学者選抜学力検査問題については、入学者の選抜に際し極めて重要な資料となることから、中学校学習指導要領の趣旨に即し、その実現に資する出題内容となっているか、中学校において育成することを目指す資質・能力の状況を適切に測ることができているかなど、これまでも、継続的な調査研究に取り組み、出題方法の工夫や改善に努めてきたところです。

また、入学者選抜学力検査は、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力の状況を測ることができるものであり、中学校において学習指導の充実・改善を図るための重要な基礎資料として、当該検査の結果の精緻な分析は大きな意味があります。

これらを踏まえ、次の二点を目的として分析及び考察を進めました。

- 1 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- 2 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

一方、高等学校においても、本報告に示すデータや考察は、中学校教育までの学習の成果の円滑な接続、生徒の実態に応じた指導計画の作成、指導内容や指導方法の工夫のための有用な情報であると考えます。

中学校及び高等学校においては、生徒一人一人が育成を目指す資質・能力を確実に身に付けることを目指し、カリキュラム・マネジメントの充実、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善などに取り組んでいるところですが、本報告を積極的に活用することにより、これらを一層促進し、中学生及び高校生にとってより質の高い、豊かな学びが実現されることを切に期待しています。

令和8年7月

宮城県教育委員会教育長 小 野 寺 邦 貢

目 次

I	受験状況	3
II	出題の基本方針	3
III	学力検査の結果（全日制受験者）	
1	総点	3
2	各教科の成績	3
3	各教科の得点分布	4
IV	各教科の分析	
1	分析の方法	4
2	各教科の分析結果の概況	5
	（1）国語	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	6
	・正答率・無答率・得点率・その他	8
	・問題	9
	・正答表	17
	（2）社会	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	18
	・正答率・無答率・得点率・その他	20
	・問題	21
	・正答表	29
	（3）数学	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	30
	・正答率・無答率・得点率・その他	32
	・問題	33
	・正答表	41
	（4）理科	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	42
	・正答率・無答率・得点率・その他	44
	・問題	45
	・正答表	53
	（5）英語	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	54
	・正答率・無答率・得点率・その他	56
	・問題	57
	・「放送によるテスト」台本	65
	・正答表	69

I 受験状況

表 1 に今年度及び前年度の学力検査の全教科受験者数を示す。

表 1 年度別学力検査受験者数

年 度	全日制	定時制	計
令和 8 年度	12,092	343	12,435
令和 7 年度	12,910	371	13,281

II 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能並びに習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な能力を捉えることができるように工夫した。

III 学力検査の結果（全日制受験者）

1 総 点

全教科受験者の総点について、表 2 に度数分布表を、図 1 に相対度数分布図を示す。

表 2 総点の度数分布表

得点区分	令和 8 年度		令和 7 年度
	人数	割合(%)	割合(%)
0～100	210	1.7	2.3
101～150	934	7.7	7.2
151～200	1,660	13.7	12.7
201～250	1,997	16.5	17.5
251～300	2,170	17.9	19.5
301～350	1,966	16.3	17.1
351～400	1,732	14.3	16.0
401～450	1,234	10.2	7.4
451～500	189	1.6	0.3
計	12,092	100.0	100.0

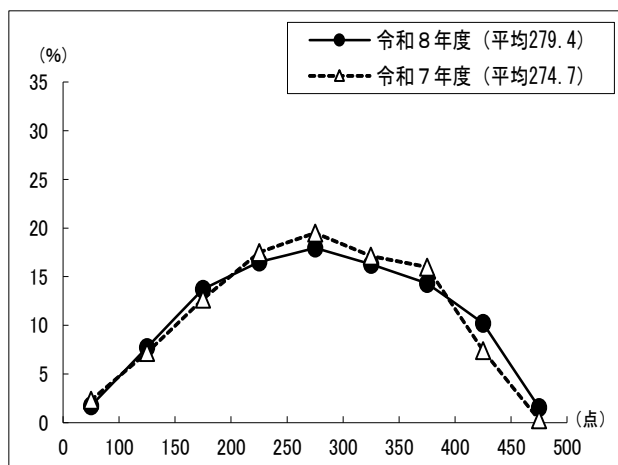


図 1 総点の相対度数分布図

2 各教科の成績

表 3 に各教科の受験者の平均点等と、合格者の平均点を示す。

表 3 各教科の平均点等

教科 区分		国語	社会	数学	理科	英語	総点
受験者	平均	61.8 (58.6)	60.5 (56.1)	50.2 (47.0)	58.3 (57.4)	48.7 (55.5)	279.4 (274.7)
	最高	94	100	100	100	100	481
	最低	0	0	0	0	0	42
	合格者平均	61.8	60.3	50.0	58.3	48.6	279.0

() 内は前年度の平均点

3 各教科の得点分布

今年度及び前年度の国語、社会、数学、理科、英語の得点の相対度数分布図を、以下に示す。

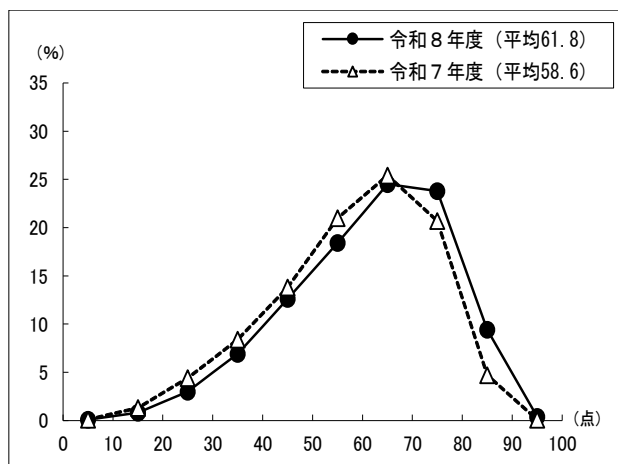


図2 国語

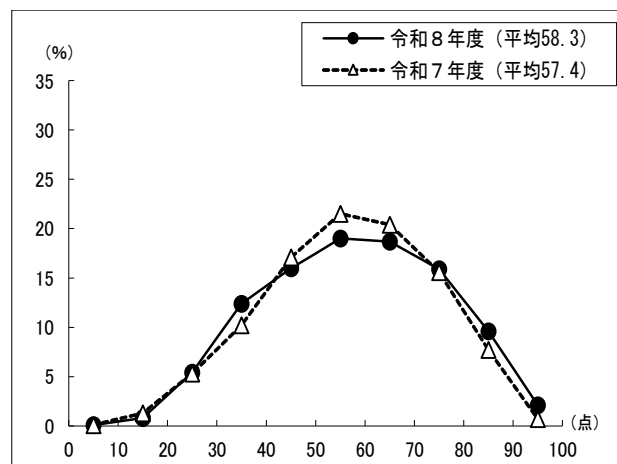


図5 理科

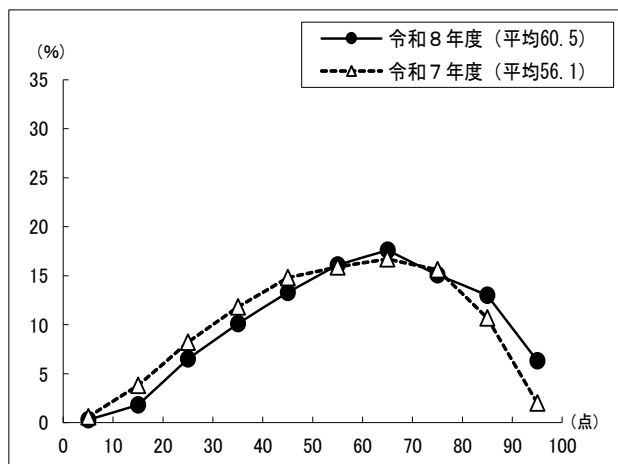


図3 社会

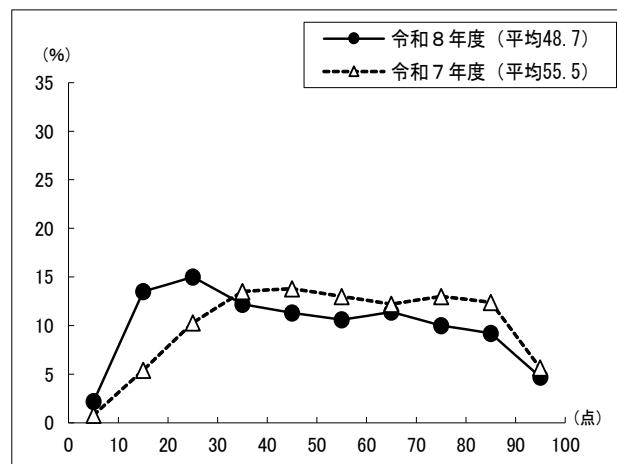


図6 英語

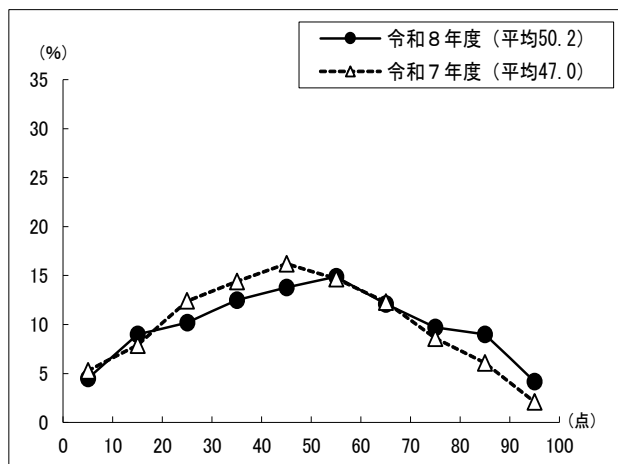


図4 数学

IV 各教科の分析

1 分析の方法

全教科受験者を対象にして、小問ごとの正答率（完全正答の割合）、無答率、得点率（配点に対する平均点の割合）を算出した。また、調査書総点を基に三つの階層に分け、それぞれの階層別の得点率を算出した。

さらに、誤答例・誤答傾向について詳細に分析を行うため、*標本を抽出して解答状況の確認を行った。

*標本の抽出について

全日制課程の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50校・学科を抽出し、さらに、調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人を抽出し、標本とした。

2 各教科の分析結果の概況

国語 平均点 61.8点（前年度比 +3.2）

情報を整理しながら内容を解釈すること、根拠の適切さを考えて書くことに課題

学びの成果

- ・ 助動詞「られる」の意味を文脈から見分けることができる。
- ・ 描写を基に、登場人物の人物像を的確に捉えることができる。

課題

- ・ 複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することに課題がある。
- ・ 根拠を明確にしながら、自分の考えを書くことに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 目的に応じて必要な情報を捉えて要約する活動を充実させる。
- ・ 書こうとする根拠が適切であるかを検討しながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する活動を充実させる。

社会 平均点 60.5点（前年度比 +4.4）

知識を活用して考察すること、歴史に関わる事象を、各時代の特徴を踏まえて捉えることに課題

学びの成果

- ・ 日本の諸地域や政治、現代社会、国際社会に関する基本的な事象が理解できている。

課題

- ・ 習得した知識を活用して、資料から読み取れる情報について多面的・多角的に考察し、適切に表現することに課題がある。
- ・ 歴史に関わる事象を、時系列に沿って整理したり、政治の展開や社会の様子などに着目して理解したりすることに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 習得した知識を活用して、地図や文献、統計などの諸資料から情報を読み取り、分類・整理して表現する活動を充実させる。
- ・ 歴史に関わる事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、意見交換したりする学習活動を積極的に取り入れる。

数学 平均点 50.2点（前年度比 +3.2）

与えられた条件を読み取り、数量の関係を式に表現すること、図形を多面的な視点で捉え、筋道を立てて表現することに課題

学びの成果

- ・ 数と式の領域における基礎的・基本的な計算の知識・技能が身に付いている。

課題

- ・ 問題場面において、与えられた条件を正しく読み取り、数量の関係を式に表現して活用する

ことに課題がある。

- ・ 図形を多面的に捉え、数学的に考察した内容について表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 自らの解決過程を振り返り、式やグラフなどを用いた根拠について数学的に説明する活動を充実させる。
- ・ 結論を導くために必要な事柄を明確にして、証明の過程を表現する活動を充実させる。

理科 平均点 58.3点（前年度比 +0.9）

実験結果を分析して、成り立つ規則性を捉え、量的な関係を見だし表現することに課題

学びの成果

- ・ 自然の事物・現象についての基本的な知識が定着している。
- ・ 観察、実験に関する基本的な知識や技能が身に付いている。

課題

- ・ 実験結果の分析から、成り立つ規則性を捉え、量的な関係を考察することに課題がある。
- ・ 観察実験等から見いだした関係性を、科学的な根拠を基に、表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 実験結果を分析する際に、条件を制御した実験により規則性を捉え、数値による分析により量的な関係を見いだす活動を確保する。
- ・ 探究の過程において、根拠のある仮説を設定させたり、仮説の妥当性を考えさせたりすることで、表現する活動の充実を図る。

英語 平均点 48.7点（前年度比 -6.8）

文章の構成や論理の展開を踏まえて要点を的確に把握すること、自分の考えとその理由を論理的に表現することに課題

学びの成果

- ・ 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。

課題

- ・ 文と文との論理的なつながりを意識しながら読むことに課題がある。
- ・ 自分の考えとその理由を論理的に表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 構成や論理の展開をふまえて、要点を的確に読み取るためには、ディスコースマーカーに着目して読む活動などを取り入れる。
- ・ 聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを整理して伝え合う統合的な言語活動を充実させる。

1 出題のねらいと内容

言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能並びに話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことに必要な思考力、判断力、表現力等、国語で正確に理解し適切に表現する能力を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、基礎的な漢字を読む力や書く力、表現技法についての知識、行書の特徴についての知識をみようとした。

第二問では、広報委員会で作成する壁新聞の記事の内容について話し合う場面を素材とし、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方についての知識及び技能、話し合いの進め方の工夫など、話し合う力をみようとした。

第三問では、祖母が営む雑貨店で働き始めた主人公が、自分に対する祖母の思いに気付く場面を描いた文章を素材とし、叙述に基づ

いて、文章の内容や表現を的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第四問では、言葉が人の物事の見方や考え方に影響を与えることについて説明した文章を素材とし、叙述に基づいて、書き手のものの見方や考え方を的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第五問では、故郷の家族に手紙を出す際の心境を詠んだ漢詩を素材とし、古典に関する基礎的な知識を基に、現代語訳や語注などを手がかりにして、古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第六問では、示されたグラフから読み取ったことと、その読み取ったことに対する自分の考えを書くことによって、豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞知識及び技能

漢字を正しく読んだり書いたりすること、表現技法に関する知識の定着に課題

問一 漢字の読み書きの問題。③「遵守」については、正答率が37.1%であり、「遵」を「そん」と読んだ誤答が多かった。⑥「就任」については、正答率が50.2%であり、「就」を書き間違えた誤答が多かった。教科書を読むことや読書を通して漢字の読みの習熟を図るとともに、漢字を様々な文脈の中で使う機会を充実させたい。

問二 俳句に用いられている表現技法を適切に捉えることができるかをみる問題。正答率は72.5%であったが、各層の得点率の差が大きかった。c層では、得点率が48.4%にとどま

り、表現技法に関する知識の定着に課題があると推察される。それぞれの表現技法を、その名称と結び付け、意味や用法とともに理解して使うことができるようにすることが重要である。

＜第二問＞知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」

発言の意図を捉えることに課題

問一 助動詞「られる」の意味について理解しているかをみる問題。正答率は83.9%であり、助動詞「られる」の意味を文脈から見分けることができていたといえる。

問六 互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるかをみる問題。得点率は55.6%

であった。合意形成のために、複数の人物の発言から共通点を見いだしていることに着目できていない誤答が多かった。互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動を通して、立場や考えの違いを認めつつ、納得できる結論を目指して話し合う力を伸ばしたい。

＜第三問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」文学的な文章

登場人物の言動の意味を捉え、適切に表現することに課題

問二 登場人物の言動の意味について、適切に表現できるかをみる問題。得点率は43.9%にとどまった。根拠となる描写には着目できていたものの、傍線部中の指示する語句が指し示す内容を適切に表現することができていない解答が多かった。根拠となる本文の言葉を用いて登場人物の言動の意味を説明したり、登場人物の言動から考えたことを伝え合ったりする活動を一層充実させたい。

問三（二） 登場人物の人物像を捉えることができるかをみる問題。正答率は86.8%であった。心情に関する描写を基に、人物像を的確に捉えることができていたといえる。

＜第四問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」説明的な文章

情報を整理しながら内容を解釈することに課題

問二 主張と例示との関係を的確に捉えることができるかをみる問題。得点率は41.8%にとどまった。接続語に着目して、文章中に示されている具体例と、書き手の主張との関係を考えながら内容を把握することができていなかったと推察される。文章の内容をノートやレポート等にまとめる活動を充実させ、文章

の構成や展開を正確に捉える力を育成することが望まれる。

問三（一） 複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができるかをみる問題。得点率は11.5%であった。傍線部直前の表現のみに着目したと推察される解答が多かった。目的に応じて必要な情報を捉えて要約する活動を充実させ、情報を整理して、内容を解釈する力を伸ばしたい。

＜第五問＞知識及び技能「我が国の言語文化」

訓読の仕方の理解に課題

問二 漢文の訓読の仕方を理解しているかをみる問題。得点率は59.7%であったが、各層の得点率の差が大きかった。一・二点の位置が逆であったり、レ点を付けたりした誤答が多かった。作品を朗読することを通して、訓読の仕方について理解を深めるとともに、生徒と古典の世界との距離を縮め、古典の世界に親しむことができるように授業を工夫したい。

＜第六問＞思考力、判断力、表現力等「書くこと」

根拠の適切さを考えながら自分の意見を書くことに課題

グラフから情報を読み取り、読み取ったことに対する自分の考えを適切に表現することができるかをみる問題。グラフから読み取ったことに対する考えを書くことができていなかったり、自分の考えを支える根拠が明確でなかったりする解答が多かった。多様な考えができる事柄について自分の意見をもち、書こうとする根拠が適切かを検討しながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する活動を充実させ、書く力の伸長を図りたい。

問題				正答率→	←無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135～111点 b:110～88点 c:87～48点)
第一問	問一	①	記述 知・技 漢字	99.3%	0.0%	99.3%	a:99.8% b:99.4% c:98.7%
		②	記述 知・技 漢字	96.5%	0.0%	96.5%	a:97.8% b:96.9% c:95.0%
		③	記述 知・技 漢字	37.1%	4.6%	37.1%	a:63.7% b:34.4% c:15.5%
		④	記述 知・技 漢字	84.5%	7.9%	84.7%	a:97.3% b:88.9% c:68.5%
		⑤	記述 知・技 漢字	85.0%	3.7%	85.1%	a:97.4% b:90.9% c:67.4%
		⑥	記述 知・技 漢字	50.2%	12.9%	50.2%	a:82.7% b:50.1% c:20.4%
	問二	多肢選択	知・技 表現技法	72.5%	0.1%	72.5%	a:94.5% b:76.3% c:48.4%
	問三	多肢選択	知・技 書写	66.3%	0.1%	66.3%	a:85.2% b:65.9% c:49.4%
第二問	問一	多肢選択	知・技 文法	83.9%	0.1%	83.9%	a:94.6% b:84.8% c:73.2%
	問二	記述	話・聞 発言	68.7%	2.2%	79.7%	a:91.2% b:81.2% c:67.5%
	問三	多肢選択	知・技 情報の整理	90.3%	0.1%	90.3%	a:96.3% b:92.6% c:82.2%
	問四	多肢選択	話・聞 司会の進め方	87.5%	0.0%	87.5%	a:96.6% b:90.1% c:76.5%
	問五	多肢選択	話・聞 発言	88.8%	0.1%	88.8%	a:97.5% b:91.2% c:78.3%
	問六	記述	話・聞 発言	49.4%	5.0%	55.6%	a:75.9% b:58.9% c:33.4%
第三問	問一	多肢選択	読む 精査解釈	91.6%	0.1%	91.6%	a:98.2% b:93.4% c:83.7%
	問二	記述	読む 構造内容	22.6%	8.1%	43.9%	a:59.0% b:45.6% c:28.2%
	問三	(一) 抜き出し	読む 精査解釈	89.9%	3.5%	91.4%	a:99.0% b:94.9% c:80.7%
		(二) 多肢選択	読む 構造内容	86.8%	0.4%	86.8%	a:97.2% b:90.3% c:73.6%
	問四	記述	読む 精査解釈	7.1%	11.9%	44.3%	a:54.5% b:47.0% c:31.9%
	問五	多肢選択	読む 表現	77.3%	0.6%	77.3%	a:87.2% b:78.1% c:67.3%
第四問	問一	多肢選択	読む 精査解釈	85.2%	0.3%	85.2%	a:97.3% b:89.1% c:69.9%
	問二	抜き出し	読む 構造内容	41.3%	24.0%	41.8%	a:67.0% b:40.0% c:20.5%
	問三	(一) 記述	読む 精査解釈	7.7%	31.1%	11.5%	a:25.0% b:8.1% c:2.9%
		(二) 抜き出し	読む 精査解釈	68.4%	14.0%	69.1%	a:92.8% b:74.5% c:41.4%
	問四	記述	読む 精査解釈	0.8%	41.0%	5.8%	a:12.6% b:4.6% c:0.9%
	問五	多肢選択	読む 構造内容	62.0%	2.8%	62.0%	a:79.8% b:61.9% c:45.7%
第五問	問一	多肢選択	知・技 言語文化	70.7%	1.0%	70.7%	a:90.6% b:70.1% c:53.1%
	問二	記述	知・技 言語文化	59.6%	4.0%	59.7%	a:88.3% b:63.0% c:29.7%
	問三	(一) 多肢選択	知・技 言語文化	78.6%	2.0%	78.6%	a:94.6% b:82.0% c:60.1%
		(二) 記述	知・技 言語文化	28.4%	19.1%	49.8%	a:71.9% b:52.6% c:26.5%
	第六問	論述	書く 意見文	1.7%	1.2%	59.7%	a:68.9% b:62.8% c:48.0%
計						62.1%	a:75.5% b:63.9% c:47.9%

令和 8 年 度

公立高等学校入学者選抜学力検査問題

国 語

第一問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～⑥のうち、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に改めなさい。

・ 会場の客席が埋まる。①

・ 記録の更新に挑む。②

・ 交通規則の遵守を呼び掛ける。③

・ 渡り鳥のムれが飛んでいく。④

・ 限りあるシゲン⑤を大切に使う。

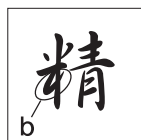
・ 社長にシユウニンする。⑥

問二 次の俳句で使われている表現技法として、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

おおや たつはる
大屋達治

ア 直喩 イ 反復 ウ 体言止め エ 対句

問三 次の行書で書かれた漢字について、○で囲んだ a、b の部分に表れている行書の特徴の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



ア	イ	ウ	エ
a	a	a	a
筆順の変化	点画の連続	点画の連続	点画の省略
b	b	b	b
点画の省略	筆順の変化	筆順の変化	筆順の変化

第二問 ある中学校の広報委員会では、壁新聞を作成し、校内に掲示しています。広報委員のAさんたち四人は、先日行われた体育祭について壁新聞を作成する担当です。次は、【前回の話し合いの記録】と、Aさんが司会となつて行つた【話し合いの一部】です。あとの問いに答えなさい。

【前回の話し合いの記録】

○記事の案

- ・各競技の結果
- ・赤組、白組、青組それぞれの総合得点
- ・赤組の優勝
- ・体育祭実行委員の活動
- ・放送委員の活動
- ・活躍した生徒へのインタビュー

○掲載する記事の数

四つ（紙面の大きさから）

【話し合いの一部】

〈Aさん〉 【前回の話し合いの記録】を見てもらえるかな。今日は、前回の記事の案をもとに、伝えたいことの優先順位を考えて、掲載する四つの記事の内容を決めるよ。紙面で大きく扱う順に記事Ⅰから記事Ⅳとして、まずは記事Ⅰから話し合おう。

〈Bさん〉 私は、赤組が優勝したことを一番伝えたいな。記事Ⅰでは、赤組の優勝を取り上げようよ。

〈Cさん〉 そうだね。記事Ⅰの内容は赤組の優勝がいいと思う。スペースが広いから、写真も入れられるよ。^①

〈Dさん〉 私も、赤組の優勝がいいと思うな。

〈Aさん〉 それでは、記事Ⅰの内容について、詳細はあとで検討することにして、記事Ⅰで ② ことは決定でいいね。次に、

^③ 記事Ⅱを決めよう。

〈Cさん〉 活躍した生徒へのインタビューを記事Ⅱにしたらどうか。赤組の生徒の喜びの声を載せようよ。生徒の声を大きく扱うと、見る人は興味を持つてくれると思うんだ。

〈Dさん〉 インタビューを記事Ⅱにするのは賛成だけれど、赤組ではな

くて、白組と青組の生徒にインタビューをしようよ。ほかの組の生徒も取り上げた方が、より多くの人が壁新聞に興味を持つてくれると思うよ。

〈Bさん〉 私は、体育祭実行委員の働きに注目してほしいから、その活動を記事Ⅱで取り上げたいな。いろいろな仕事をして体育祭を支えてくれたよ。

〈Cさん〉 私は、Dさんの話を聞いて、白組や青組にも活躍した生徒がいたから、記事Ⅱでは白組と青組を取り上げるのがいいと思う。運営側の活動は、記事Ⅲにしてもいいかもね。

〈Bさん〉 今のCさんの話に納得したよ。確かに運営側よりも、活躍した生徒を大きく取り上げた方がいいね。記事Ⅱでは、白組と青組の生徒へのインタビューを記事にしよう。

〈Aさん〉 ^④ これで、記事Ⅰから記事Ⅳのうち、記事Ⅱまでの内容が決まったね。次は、記事Ⅲについて話し合おう。まず、今出た体育祭実行委員の活動を記事にすることについて検討してみよう。

〈Dさん〉 体育祭実行委員の活動を記事Ⅲにするのは賛成だけれど、放送委員の活動を記事にする案も前回出ていたよね。放送委員も、進行のアナウンスなどをして体育祭を支えていたよね。その活動も伝えたいな。

〈Aさん〉 体育祭実行委員と放送委員をそれぞれ記事にすると、これで記事の数は四つになるよ。各競技の結果や、それぞれの総合得点を記事にするという案もあったけれど、どうか。

〈Cさん〉 ^⑤ 確かに、どちらの委員の活動も伝えたいね。でも、運営側の活動の記事が二つもあるのは多くないかな。それに、競技結果や総合得点も記事にした方がいいと思うから、委員の活動を取り上げるのは記事Ⅲだけにしたい方がいいと思うな。

〈Bさん〉 ^⑥ みんなの考えは、体育祭を支えた委員の活動を記事にしたいという点では同じだね。たとえば「縁の下力持ち」のような言葉を見出しにして、体育祭実行委員と放送委員の活動を、記事Ⅲでまとめて取り上げたらどうか。

〈Cさん〉 なるほど、それはいいアイデアだね。そうしようよ。

〈Dさん〉 うん、私も賛成。

〈Aさん〉 記事Ⅲの内容も決まったね。最後に、記事Ⅳを決めよう。

問一 【話し合いの一部】の中の「^①られる」と——線部の意味が同じものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 知り合いから声を掛けられる。
イ この箱は私でも持ち上げられる。
ウ 友人の言葉にいつも助けられる。
エ 涼しい風が心地よく感じられる。

問二 【話し合いの一部】の中の^②にあてはまる適切な表現を考えて、十五字以内で答えなさい。

問三 【話し合いの一部】の中に、「^③記事Ⅱを決めよう。」とありますが、次は、^④の部分でAさんが取った【メモ】です。^⑤ a b c d
にあてはまる言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

【メモ】

記事Ⅱ			
	Cさん	a	b
	Dさん	c の生徒に インタビュー	
	Bさん	d の生徒に インタビュー	
		見る人が興味を持てる	
		より多くの人が興味を持てる	
		働きに注目してほしい	

- ア 理由 | b 提案 | c 赤組 | d 白組と青組
イ 理由 | b 提案 | c 白組と青組 | d 赤組
ウ 提案 | b 理由 | c 赤組 | d 白組と青組
エ a 提案 | b 理由 | c 白組と青組 | d 赤組

問四 【話し合いの一部】の中の「^④これで、」が始まるAさんの発言について、ここでの司会の進め方を説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 話し合いの進み具合について確認し、話し合いの次の論点を明示している。
イ それぞれの発言の内容を整理し、新たな観点から話し合うことを提案している。
ウ 話題がそれてしまったことを指摘し、話し合いの目的を改めて説明している。
エ これまでの発言の内容を振り返り、それぞれの考えの相違点を確認している。

問五 【話し合いの一部】の中の「^⑤確かに、」が始まるCさんの発言について説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他者の意見に反論したうえで、自分の発言を見直し、新たな意見を出している。
イ 他者とは異なる意見を述べたうえで、その正当性を訴え、自分の意見に同意を求めている。
ウ 他者の意見に共感を示したうえで、説明が不足している点を挙げ、自分の言葉で補足している。
エ 他者の意見を受け止めたうえで、その課題を指摘し、自分の意見を述べている。

問六 次の文は、【話し合いの一部】の中の「^⑥みんなの考えは、」が始まるBさんの発言について説明したものです。

にあてはまる適切な表現を考えて、十字以内で答えなさい。

- 互いの考えの

ことで、みんなが納得できるようなアイディアを出している。

著作権保護のため本文等を掲載しておりません。

(長月 ながつき 天音 あまね「銀座ちぐさ百貨店」による)

*をつけた語句のへ注V

さつき

金型 ———— ここでは、たい焼き用の金属製の型のこと。

タネ ———— ここでは、たい焼きの生地のこと。

問一 本文中に「^①」とありますが、祖母が男の子の言葉から得たヒントとは、どのようなことですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 新たな商品としてたい焼きを加えるということ。
イ 近所にはたい焼きを作りたい子どもが多いかもしれないということ。
ウ たい焼きの尻尾に塩昆布を入れるということかもしれないということ。
エ 老舗のたい焼き屋の場所を店に掲示すべきかもしれないということ。

問二 本文中に「^②」とありますが、祖母は、どのようなことが「楽しい」と述べたのですか。二十五字以内で説明しなさい。

問三 本文中に「^③」とありますが、次の対話は、ここでの「私」の様子について話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 「^③」とあるけれど、祖母は

「^③」をしているんだね。

〈Yさん〉 うん。祖母にじつと見つめられた「私」は、幼い頃から祖母の

「^A」が大好きだったことを思い出しているね。

〈Xさん〉 そうだね。今でもその気持ちは変わっていないんだね。それ

から、祖母の話の内容だけでなく、「私」は祖母の指摘を「[□]」だと感じているよ。小さい頃から

「^B」 ようだね。

〈Yさん〉 そうすると、ここでの「私」は、祖母の目と、祖母の話の両方に引き込まれて、祖母から目を逸らせなくなっているんだね。

(一) 「^A」にあてはまる言葉を、本文中から七字でそのまま抜き出して答えなさい。

(二) 「^B」にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 祖母の働く姿を見てきた「私」は、祖母のような仕事をしたいと思
い続け、自分の仕事に価値を見いだせずにいた
イ 互いの真意を探り合う大人の様子を見てきた「私」は、相手の言葉を
素直に受け止められず、周囲を信じられずにいた
ウ 人に気に入られるように振る舞ってきた「私」は、自分のやりたい
ことを我慢して、他者に合わせて生きてきた
エ 人の顔色を気にしてきた「私」は、相手が自分をどう思っているか
を意識しすぎていて、自分に自信を持てずにいた

問四 本文中に「^④」とありますが、このときの「私」の心情を、五十五字以内で説明しなさい。

問五 本文の表現について説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 祖母と野乃との会話をテンポよく重ねることで、祖母と「私」の接客
の違いをきわ立たせている。

イ 情景を色彩豊かに描写することで、登場人物の心情の移り変わりを読
者が想像しやすくしている。

ウ 「私」や祖母が過去を振り返る場面を描くことで、二人の人物像や関
係性を効果的に表現している。

エ 三人称の視点から物語を展開することで、それぞれの登場人物の心情
を客観的に描き出している。

著作権保護のため本文等を掲載しておりません。

（古田 徹也）「言葉なんていらない？ 私と世界のあいだ」による）

*をつけた語句の△注▽

鑿——木材や石材に穴や溝を掘る工具。

相貌——ここでは、特徴や側面のこと。

いずい——北海道や東北地方の方言。「違和感がある」「しつくりこない」などの意味がある。

問一 本文中に「 」^①とありますが、それを知っていると、どのようなことができますと筆者は述べていますか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 強風で折れた倒木をその形のまま利用すること。

イ 倒木から作られた作品の価値に気づくこと。

ウ 家や学校で身につけた技術を他者に教えること。

工 何が作れるかという関心をもって倒木を見ること。

問二 本文中に〔 〕とありますが、次の文章は、このことについて、筆者が述べていることを説明したものです。〔 〕にあてはまる言葉を、本文中から十三字でそのまま抜き出して答えなさい。

問三 本文中に③

「とありますが、次の文章は、このことについて、筆者が述べていることを説明したものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 答えなさい。

A

にあてはまる適切な表現を考えて、三十五字以内で

(二) B にあてはまる言葉を、本文中から十七字で探し、はじめの五字で答えなさい。

問四 本文中に「 」とありますが、筆者がこのように述べる理由を、五十五字以内で説明しなさい。

問五 本文の論の進め方について説明したものととして、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 主題について自分の見解を述べたあと、対立的な意見に対して反論しながら、持論を展開している。

イ たとえを用いて主題を提示したあと、具体的な例を挙げ、他者の主張を引用しながら、説明を重ねている。

ウ 主題について問題を提起したあと、他の地域との共通点や相違点を挙げながら、自身の見解を明らかにしている。

工 先人の言葉を引用して主題について仮説を立てたあと、具体的な根拠を示しながら、検証を行っている。

第五問 次の【漢詩】と、その【書き下し文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【漢詩】

秋思 張籍

【書き下し文】

秋思 張籍

洛陽城裏見秋風

洛陽城裏秋風を見る

欲作家書意万重

家書を作らんと欲して意万重

復恐匆匆說不尽

復た恐る匆匆説いて尽くさざるを

行人臨發又開封

行人発するに臨んで又封を開く

（「三体詩」による）

*をつけた語句のへ注▽

洛陽城裏——唐代の東都、洛陽の町。作者は故郷を離れ洛陽にいる。

家書——ここでは、家への手紙のこと。

行人——ここでは、手紙を届けてくれる旅人のこと。

問一 この【漢詩】の形式を何というか、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 五言絶句 イ 五言律詩 ウ 七言絶句 エ 七言律詩

問二 【書き下し文】を参考にして、【漢詩】中の「見秋風」に返り点を付けなさい。

問三 次の対話は、【漢詩】について話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 前半の二句は、作者が、「秋風」をきっかけに「家書」を書

こうするといふ展開になっているね。
〈Yさん〉 そうだね。A 様子が、「意万重」という表現から伝わってくるよ。「秋風」が作者の心境に影響を与えたのかな。
〈Xさん〉 そうかもしれないね。後半の二句では、「行人」が発するときの作者の様子が描かれているよね。
〈Yさん〉 うん。「又開封」からは、一度閉じた封を開けたことが分かるよ。作者は、B としたんだね。

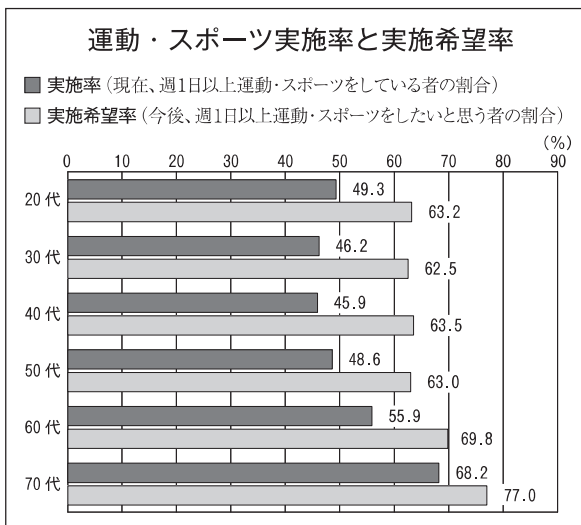
(一) A にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 洛陽が寂れたことを嘆いている
イ 家族への思いが込み上げている
ウ 秋の風が強く吹いている
エ 友人からの手紙を待ち望んでいる

(二) B にあてはまる適切な表現を考えて、二十字以内で答えなさい。

第六問

総合的な学習の時間で、運動の習慣をテーマに、下のグラフを用いてレポートを書くことになりました。
あなたは、このグラフからどのようなことを読み取り、そこからのようなことを考えますか。百六十字～二百字で書きなさい。



（スポーツ庁「令和6年度『スポーツの実施状況等に関する世論調査』より作成）

(1) 国語正答表

						備考欄	
3	5	3	2	4	3	20	配点
問五	問四	問三 (二) (一)	問二	問一	第三問		
ウ	(例) 私が思っていた以上に祖母が私のことを理解し、伸び伸びと働けるように考えてくれていたことに気づき、感激している。 (五十五字)	エ		(例) 違う形になったとしても、物が残っていくこと。 (二十二字)	ア		

						備考欄
						14
3	2	2	2	3	2	
問六	問五	問四	問三	問二	問一	第二問
(例) 共通点に着目する (八字)	エ	ア	ウ	(例) 赤組の優勝を取り上げる (十一字)	イ	

		漢字は、点画に過不足がなく、字形の正しさを損なっていないければ正答とする。						備考欄	配点
2	2	2	2	2	2	2	2	16	
問三	問二	問一							第一問
イ	ウ	⑥ 就任 シュウニン	⑤ 資源 シゲン	④ 群衆 ム	③ 遵守 ジュンシュ	② 挑発 テウハツ	① 埋没 マイボク		
				(れ)		(む)	(まる)		

△採点の基準▽

1	内容及び表現について	15点
グラフから読み取ったことと、そこから考えたことが、適切に表現されているか。		
2	表記について	5点
(1)	誤字や脱字はないか。	
(2)	仮名遣いや送り仮名は正しいか。	
(3)	漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。	
(4)	句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。	
(5)	原稿用紙の使い方は正しいか。	

△留意事項▽

採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。

(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。

(2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。

				備考欄	
				10	
問三		問二	問一	第五問	
(二)	(一)	二	一		
う (例) 手紙に書き漏らしがないかを確認しよ (十八字)		イ	見 _ル 秋 風 _フ	ウ	

										備考欄	
3		5		3		4		3		2	
										20	
問五		問四		問三		問二		問一		第 四 問	
				(一)							
イ		(例) 伝達や内省の内容は、習得した言語に含まれる言葉の影響を受けた物事の見方や考え方の下でつくり出されるため。				(例) 「緑」や「オレンジ」と呼んで区別する色彩も「茶」という言葉で表していた					
		(五十二字)				(三十五字)					

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

满点 100 点

1 出題のねらいと内容

地理、歴史、公民に関する知識及び調査や諸資料から情報を読み取りまとめる技能並びに社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることがねらいとした。

第一問では、「国際連合の役割と取り組み」を題材とし、20世紀以降の世界の歴史に関する知識や、国際連合の仕組みと役割、持続可能な開発目標に関する知識をみようとした。

第二問では、「オセアニア州の3か国」を題材とし、世界地理に関する知識及び地図や統計資料から情報を読み取る技能並びにオーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れている理由について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「古代から近代までの日本の政治体制」を題材とし、歴史に関する知識及

び選挙権の拡大を求める大正時代の活動について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「国民主権と政治参加」を題材とし、国民主権に関する知識及び松山市の若年層に対する選挙啓発活動について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第五問では、「九州地方の特色」を題材とし、日本地理に関する知識及び統計資料から情報を読み取る技能並びに半導体関連企業が熊本県に集まった理由について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第六問では、「日本の労働環境の歴史」を題材とし、公民や近現代の歴史に関する知識及び中小企業が働き方改革に取り組む目的について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞公民的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

近現代の歴史について、時系列に関わる視点から理解することに課題

2 国際連盟の設立から国際連合が発足されるまでの間の世界のできごとについて述べた文を、年代の古い順に並べかえる問題。正答率は42.0%であり、20世紀前半から中ごろまでの国際情勢について、時系列を踏まえた理解が不十分であったと推察される。年表などの諸資料から、歴史に関わる事象についての情報を読み取り、時系列に沿った整理を行う活

動を重視したい。

5 SDGsの達成に向けた日本政府の具体的政策と関連するSDGsの目標を選択する問題。正答率は95.6%であった。SDGsに関する基本的な知識を、資料から読み取れる情報と関連付けることができているといえる。

＜第二問＞地理的分野を中心とする問題

資料から必要な情報を読み取り、考察して表現することに課題

4 (2) オーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れている理由として考えられ

ることを、資料を基に説明する問題。オーストラリアで英語を母国語としない移民が増加していることには触れていたが、「成人移民英語プログラム」の実施目的にまで言及できていない解答が多かった。資料から必要な情報を読み取り、適切に表現する活動のより一層の充実が望まれる。

＜第三問＞歴史的分野を中心とする問題

各時代の特色を、政治の展開や社会の様子に着目して理解・考察することに課題

- 1 8世紀の日本の政治について述べた文として最も適切なものを選択する問題。正答率は39.7%であった。藤原道長や天武天皇について述べた選択肢を選んだ解答が多く、律令国家の確立に至る過程や、奈良時代の政治についての理解が不十分であったと推察される。各時代の特色について、政治の展開などに着目しながら理解できるよう指導をしたい。
- 5 大正時代に行われた活動について、その活動が行われた理由を、資料を基に説明する問題。納税額や性別により制限されていた選挙権の拡大を求めた活動という学習事項を、資料から読み取れることと関連付けながら考察できていない解答が多かった。知識を活用して諸資料を読み解き、社会の様子などに着目しながら考察・表現する活動を重視したい。

＜第四問＞公民的分野を中心とする問題

選挙制度を理解すること、統計資料から適切な情報を読み取り表現することに課題

- 2 (1) 選挙の制度を定めた法律の名称を記述する問題。正答率は33.7%であった。「普通選挙法」という誤答が多くみられた。選挙に関する具体的な事例を取り上げるなどして選挙に対する関心を高め、正しい選挙が行われ

るための制度や取組について理解を深めることができるようにしたい。

- 4 松山市が選挙コンシェルジュによる啓発活動を取り入れている理由を、資料を基に説明する問題。政治的関心と投票行動の関係性を示した統計資料から、適切な情報を読み取ることができていない解答が多かった。様々な種類の統計資料を基に、多面的・多角的に考察し、適切に表現する活動を多く取り入れたい。

＜第五問＞地理的分野を中心とする問題

習得した知識と、資料から読み取れる情報とを関連付けて考察することに課題

- 3 (2) 福岡県の製造品出荷額等に関する資料の空所にあてはまる品目の組み合わせを選択する問題。正答率は50.6%であった。福岡県の製造業の変化の特徴と、資料から読み取れる情報とを関連付けた考察が不十分であったと推察される。習得した知識を活用して、資料を分析する活動を多く取り入れたい。

＜第六問＞歴史的分野を中心とする公民的分野との融合問題

近現代の歴史に関わる事象を、時期や年代、推移に着目して整理することに課題

- 4 占領期の日本、高度経済成長期の日本、現代の日本の3つの時期の代表的なできごとを、起こった年代の古い順に並べかえる問題。正答率は22.9%と全設問中で最も低く、戦後の日本社会の変化や推移について理解できていなかったと推察される。歴史に関わる事象の学習においては、時期や年代、推移などに着目して問いを設定し、図版や統計資料などの諸資料から歴史に関わる事象についての情報を読み取り、まとめる活動を重視したい。

問題				正答率→	←無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~48点)
第一問	1	多肢選択	歴史 (近代)	73.1%	0.0%	73.1%	a: 89.2% b: 76.0% c: 55.2%
	2	並べ替え	歴史 (近代)	42.0%	0.0%	42.0%	a: 70.5% b: 37.5% c: 20.8%
	3	語句記述	公民 (国際)	48.8%	15.8%	56.4%	a: 86.2% b: 57.7% c: 27.8%
	4	多肢選択	公民 (国際)	77.7%	0.2%	77.7%	a: 92.3% b: 78.9% c: 62.9%
	5	多肢選択	公民 (現代社会)	95.6%	0.1%	95.6%	a: 99.2% b: 97.6% c: 90.1%
第二問	1	多肢選択	世界地理 (気候)	70.8%	0.0%	70.8%	a: 87.1% b: 71.6% c: 54.9%
	2	多肢選択	世界地理 (農業)	48.7%	0.1%	48.7%	a: 65.8% b: 45.4% c: 36.4%
	3	語句記述	世界地理 (農業)	66.4%	7.0%	71.4%	a: 93.5% b: 75.8% c: 46.4%
	4	(1) 多肢選択	世界地理 (貿易)	84.3%	0.3%	84.3%	a: 95.5% b: 88.2% c: 69.9%
		(2) 論述	世界地理	35.4%	3.6%	58.3%	a: 77.9% b: 58.0% c: 40.6%
第三問	1	多肢選択	歴史 (古代)	39.7%	0.1%	39.7%	a: 59.6% b: 36.4% c: 25.1%
	2	多肢選択	歴史 (中世)	49.8%	0.1%	49.8%	a: 73.3% b: 44.3% c: 34.2%
	3	並べ替え	歴史 (近世)	46.4%	0.0%	46.4%	a: 69.2% b: 43.2% c: 28.9%
	4	語句記述	歴史 (近代)	40.2%	14.6%	51.3%	a: 79.1% b: 52.5% c: 24.5%
	5	論述	歴史 (近代)	27.4%	6.0%	54.6%	a: 72.8% b: 56.5% c: 35.8%
第四問	1	多肢選択	公民 (人権)	62.5%	0.1%	62.5%	a: 88.9% b: 65.0% c: 35.7%
	2	(1) 語句記述	公民 (政治)	33.7%	15.6%	34.5%	a: 67.5% b: 29.9% c: 9.2%
		(2) 多肢選択	公民 (政治)	75.3%	0.3%	75.3%	a: 93.8% b: 78.4% c: 55.0%
	3	多肢選択	公民 (人権)	68.3%	0.7%	68.3%	a: 76.0% b: 71.1% c: 58.1%
	4	論述	公民 (政治)	29.2%	6.1%	56.6%	a: 68.7% b: 61.2% c: 40.5%
第五問	1	多肢選択	日本地理	82.7%	0.1%	82.7%	a: 95.5% b: 85.1% c: 68.5%
	2	多肢選択	日本地理 (農業)	90.6%	0.1%	90.6%	a: 97.0% b: 92.7% c: 82.6%
	3	(1) 語句記述	歴史 (近代)	55.7%	11.2%	62.6%	a: 89.0% b: 67.0% c: 33.7%
		(2) 多肢選択	日本地理 (産業)	50.6%	0.6%	50.6%	a: 67.5% b: 50.3% c: 35.5%
	4	論述	日本地理 (工業)	55.0%	4.1%	75.8%	a: 92.4% b: 79.7% c: 56.3%
第六問	1	多肢選択	歴史 (近代)	45.1%	0.2%	45.1%	a: 65.3% b: 37.5% c: 34.8%
	2	多肢選択	歴史 (近代)	41.0%	0.3%	41.0%	a: 52.4% b: 36.3% c: 35.5%
	3	語句記述	歴史 (近代)	63.2%	15.8%	64.8%	a: 94.5% b: 70.6% c: 31.2%
	4	並べ替え	歴公	22.9%	0.3%	22.9%	a: 36.4% b: 18.8% c: 15.1%
	5	論述	公民 (企業)	46.9%	6.0%	68.1%	a: 87.3% b: 71.4% c: 46.9%
計						60.9%	a: 79.5% b: 61.6% c: 43.2%

令和 8 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
社 会

第 一 問 国際連合の役割と取り組みについて、資料 A を読んで、あとの 1～5 の問いに答えなさい。

資料 A 国際連合の役割と取り組み

現在の世界には、各国が協力して取り組むべき問題があります。そうした問題の解決に主体的な役割を果たすことが期待される国際連合は、アメリカ大統領 ① の提案にもとづき、1920年に設立された②国際連盟にかわる新たな国際組織として、第二次世界大戦後に発足した組織です。国際連合には総会や③安全保障理事会などの主要機関が置かれ、専門機関などと連携しながら、④国際社会の平和維持や、⑤持続可能な開発目標（SDGs）の達成を目指した活動を行っています。

- 1 ① にあてはまる人物として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ア ワシントン イ チャーチル ウ ウィルソン エ レーニン
- 2 下線部②について、国際連盟の設立から国際連合が発足されるまでの間に起こった世界のできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
- ア ドイツのポツダムで会議が開かれ、日本の降伏条件や戦後処理について討議された。
- イ 日本、ドイツ、イタリアの間で日独伊三国同盟が結ばれ、三国間の関係が強化された。
- ウ アメリカの呼びかけでワシントン会議が開かれ、列強の間で海軍の軍備が制限された。
- 3 下線部③について、安全保障理事会の常任理事国である 5 か国が持つ権限により、重要な問題については 1 か国でも反対すると決定することができません。常任理事国のみが持つこのような権限を何というか、書きなさい。
- 4 下線部④について、国際連合が行う、紛争が起きた地域での停戦の監視や治安維持などにあたる活動の略称として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ア WTO イ WHO ウ ODA エ PKO
- 5 下線部⑤について、資料 B は、SDGs の達成に向けた日本政府の具体的政策の一部です。資料 B の取り組みと関連する SDGs の目標として、最も適切なものを、あとのア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

資料 B 「SDGs アクションプラン2023」の一部

事業名	世界遺産の森林生態系保全対策事業
事業概要	我が国の世界自然遺産の森林生態系を適切に保全管理し、世界遺産としての資質の維持・増進を図るため、必要な技術開発、科学的知見の収集を実施する。

（「外務省ホームページ」より作成）

- ア 平和と公正をすべての人に イ 陸の豊かさも守ろう
ウ 人や国の不平等をなくそう エ 貧困をなくそう

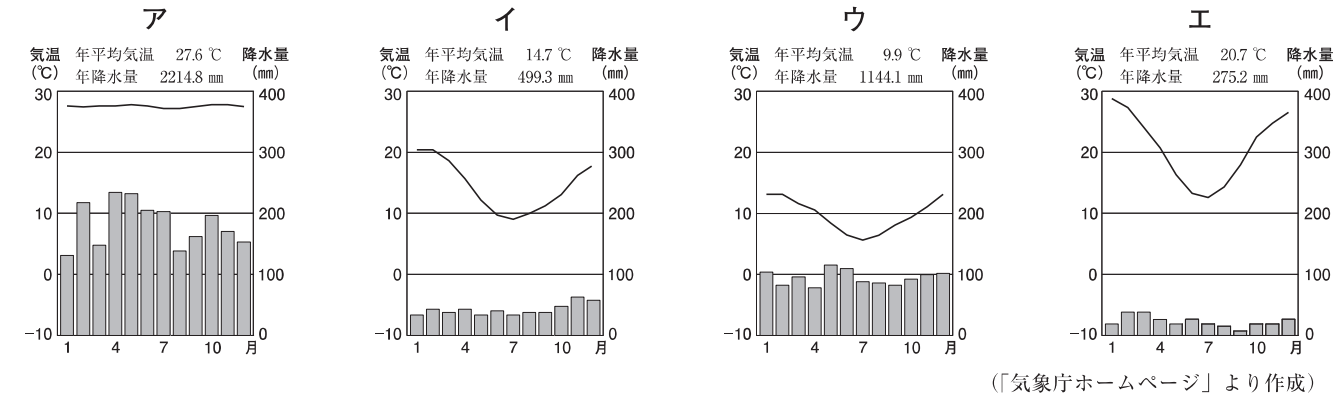
第 二 問 陽子さんは、社会科の「世界の諸地域を調べよう」という授業で、オセアニア州の3か国の特徴について調べ、略地図と資料Aを作成しました。これをみて、あとの1～4の問いに答えなさい。

略地図

資料A オセアニア州の3か国の特徴

- パプアニューギニアでは、熱帯雨林が広がっており、林業や①森林資源を利用した農業などが行われています。
- オーストラリアには、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が豊富にあり、②日本や中国、東南アジア諸国などに輸出されています。
- ニュージーランドでは、羊や牛などの牧畜がさかんに行われており、酪農品や肉類が重要な輸出品となっています。

1 陽子さんは、略地図中のPの都市の気温と降水量を調べました。Pの都市の気温と降水量をあらわしたグラフとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



2 陽子さんは、オセアニア州の3か国の農業について調べ、資料Bを作成しました。 ～ にあてはまる国名の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B オセアニア州の3か国の農業（2022年）

	農林水産業 就業者 (千人)	全就業者に占 める割合(%)	おもな農業生産物の生産量 (万 t)		おもな畜産物の生産量 (万 t)	
X	300	2.2	小麦	3,624	生乳	845
			サトウキビ	2,867	牛肉	188
Y	175	6.0	キウイフルーツ	65	生乳	2,105
			リンゴ	58	牛肉	73
Z	569	18.5	油ヤシの実	327	ジビエ肉	44
			バナナ	124	豚肉	8

（注）数字は四捨五入している。ジビエ肉とは、食肉として販売される野生鳥獣肉のことを指す。（「FAOSTAT」などより作成）

- ア X - オーストラリア

イ X - ニュージーランド

ウ X - パプアニューギニア

エ X - オーストラリア

オ X - ニュージーランド

カ X - パプアニューギニア

Y - パプアニューギニア

Y - オーストラリア

Y - ニュージーランド

Y - ニュージーランド

Y - パプアニューギニア

Y - オーストラリア

Z - ニュージーランド

Z - パプアニューギニア

Z - オーストラリア

Z - パプアニューギニア

Z - オーストラリア

Z - ニュージーランド

- 3 下線部①について、パプアニューギニアでは、樹木などを切りはらって燃やし、燃やした場所で、その灰を肥料として作物を栽培する農業が行われています。この農業を何というか、書きなさい。
- 4 下線部②について、陽子さんは、オーストラリアと諸外国との関係に興味を持ち、調べを進めました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 陽子さんは、日本とオーストラリアの間の貿易について調べ、資料Cを作成しました。資料Cから読みとれることとして最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料C 日本からみたオーストラリアとの貿易（億円）

	2012年	2022年
日本の輸出総額	14,708	21,727
オーストラリアへのおもな輸出品〔輸出額〕	自動車〔7,525〕 機械類〔2,856〕 石油製品〔1,328〕	自動車〔11,053〕 石油製品〔3,828〕 機械類〔3,026〕
日本の輸入総額	45,036	116,225
オーストラリアからのおもな輸入品〔輸入額〕	石炭〔14,557〕 液化天然ガス〔10,446〕 鉄鉱石〔8,635〕	石炭〔52,689〕 液化天然ガス〔36,403〕 鉄鉱石〔9,489〕

（注）数字は四捨五入している。

（「日本国勢図会2024/25」などより作成）

- ア 日本の輸出総額は、2012年の方が2022年よりも大きい。
- イ 日本の輸出総額に占める自動車の輸出額の割合は、2012年、2022年ともに5割以上である。
- ウ 2022年の日本の輸入総額は、2012年の輸入総額の4倍以上である。
- エ 2022年の日本の石炭の輸入額は、2012年の石炭の輸入額の5倍以上である。
- (2) 陽子さんは、オーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れていることを知り、調べを進め、資料D～Fを作成しました。オーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れている理由として考えられることを、資料D～Fを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料D オーストラリアへの移民の推移

- 1901年、オーストラリアへの移民はイギリスからの移民が中心であり、アジア系移民は制限されていた。
- 第二次世界大戦後、労働力不足を解消するために、イギリスからの移民に加え、英語を母国語としないヨーロッパ系移民などを積極的に受け入れた。
- 世界的な人権尊重の風潮が強まるなか、1973年にオーストラリア政府が白豪主義を撤廃し、非ヨーロッパ系移民を受け入れ、多文化主義を目指すことを宣言した。

（「概説オーストラリア史」などより作成）

資料E オーストラリアの総人口とオーストラリアに居住する移民の総計の推移（万人）

	オーストラリアの総人口	オーストラリアに居住する移民の総計
1947年	758	74
1961年	1,051	178
1971年	1,276	258
1981年	1,452	295
1991年	1,677	369
2001年	1,927	445
2011年	2,234	602
2021年	2,569	753

（注）数字は四捨五入している。

（「Australian Bureau of Statisticsホームページ」より作成）

資料F オーストラリアの「成人移民英語プログラム」

- 「成人移民英語プログラム」は、第二次世界大戦後に政府によって導入された、英語が母国語ではない移民などに対して、公用語である英語の学習機会を提供するプログラムである。
- 「成人移民英語プログラム」は、オーストラリア各地の語学学校などで、一定の条件を満たした移民などが無料で英語の授業を受講することができ、職場で役に立つ英語を学ぶクラスと、地域社会で人々と交流し自立した生活を送るための英語を学ぶクラスがある。

（「Australian Governmentホームページ」などより作成）

第 三 問 康平さんは、社会科の授業で、「古代から近代までの日本の政治体制」について調べ、次の表を作成しました。これをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

古代から近代までの日本の政治体制		
律令にもとづいた政治 ① 8世紀初めに定められた大宝律令により、国家のしくみが整えられた。律令にもとづき、天皇や貴族中心の政治が行われた。	幕府による政治体制 12世紀末に鎌倉幕府が成立し、武士を中心とした政治が行われるようになった。それ以降、②室町幕府、③江戸幕府と、幕府による政治体制が続いた。	新政府の樹立と国会開設 ④ 将軍から政権が朝廷に返上され、その後、新政府が樹立された。自由民権運動が高まるなか、大日本帝国憲法が發布され、⑤ 帝国議会が開設された。

- 下線部①について、8世紀の日本の政治について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 藤原道長とその子である頼通が、摂政や関白の職につき政治の実権をにぎった。
 イ 仏教の力で国家を守ろうとした聖武天皇が、国ごとに国分寺などを建てるよう命じた。
 ウ 天皇の位を幼い皇子にゆずった白河天皇が、上皇として自ら政治を行った。
 エ 壬申の乱に勝利して即位した天武天皇が、天皇を中心とする強い国づくりを進めた。
- 下線部②について、室町時代に起きたできごとについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 貿易を望む大名や豪商に対して、将軍が東南アジアへの渡航を許可する朱印状を発行した。
 イ 朝廷の勢力を回復させるために兵をあげた後鳥羽上皇が、幕府軍に敗れて隠岐に流された。
 ウ 将軍のあとつぎをめぐって有力な守護大名が対立したことをきっかけに、内乱が起きた。
 エ 二度にわたる蒙古襲来後に、生活が苦しくなった御家人たちが幕府への反感を強めた。
- 下線部③について、江戸時代に起きたできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
 ア 幕府が日本近海に接近する外国船を追い払うことを命じる法令を出した。
 イ 幕府が大名に一年ごとに領地と江戸の往復を義務づける制度を定めた。
 ウ 幕府が財政難に対応するために、質素・儉約などをかかげた享保の改革を行った。
- 下線部④について、将軍から政権が朝廷に返上されたこのできごとを何というか、書きなさい。
- 下線部⑤について、康平さんは、帝国議会の開設と国民の政治参加について興味を持ち、調べを進め、資料A～Cを作成しました。資料Cのような活動が行われた理由として考えられることを、資料A～Cを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料A 明治・大正時代の選挙制度

- 1889年に制定された法律では、有権者は、25歳以上の男子で、直接国税15円以上という高額な税金を納める者に制限された。
- 1919年の法律改正で有権者の納税要件が引き下げられ、25歳以上の男子で、直接国税3円以上を納める者とされた。

(「総務省広報誌」より作成)

資料B 日本の総人口と有権者数

	総人口 (万人)	有権者数 (万人)	割合 (%)
1890年	3,990	45	1.1
1920年	5,596	307	5.5

(注) 数字は四捨五入している。

(「総務省統計局ホームページ」より作成)

資料C 大正時代に行われた活動

- 吉野作造が、政治は国民の幸福のために、国民の意見によって行われなければならない、という考え方を主張した。
- 平塚らいてうが、市川房枝たちと、女性の政治参加の実現を目的とした組織をつくり、活動した。

(「吉野作造記念館ホームページ」などより作成)

第 四 問 国民主権と政治参加について、資料Aを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 国民主権と政治参加

国民主権とは、国民が国の政治のあり方を決める権利を持つという意味であり、①基本的人権の尊重、平和主義と並ぶ日本国憲法の三大原則の一つです。国民主権を生かしていくためには、②国政選挙への参加や、③請願権の行使などを通じて、国民一人ひとりが自分たちの生活と社会の向上を目指し、④政治や社会に目を向け、主体的に関わる姿勢を持つことが大切です。

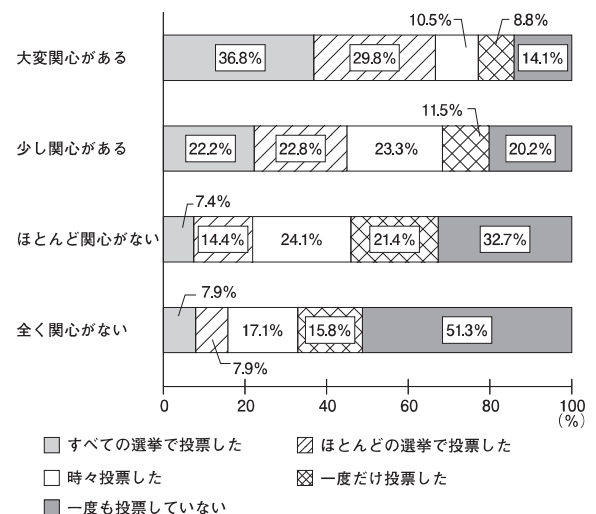
- 下線部①について、基本的人権の一つである、精神の自由を保障する日本国憲法の条文の一つとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。
イ 何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。又、犯罪に因る処罰の場合を除いては、その意に反する苦役に服させられない。
ウ 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。
エ すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- 下線部②について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
(1) 日本において選挙区や議員定数などの選挙の制度を定めた法律を何というか、書きなさい。
(2) 2024年に行われた衆議院議員総選挙について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 全国を一つの選挙区として行われる比例代表制をとった。
イ 小選挙区制と比例代表制を組み合わせた小選挙区比例代表並立制が採用された。
ウ 選挙に立候補できる被選挙権年齢を30歳以上とする制度が採用された。
エ 3年ごとに選挙を実施する制度により、総定数の半数が選出された。
- 下線部③について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 国や地方公共団体などに意見や要望をする。 イ 労働条件の改善などを会社と交渉する。
ウ 国が正しく政治を行っているかを調査する。 エ 裁判所に権利侵害の救済を求める。
- 下線部④について、愛媛県松山市では、市内の学生を選挙コンシェルジュに任命し、選挙コンシェルジュによる啓発活動を行っています。松山市が選挙コンシェルジュによる啓発活動を取り入れている理由を、資料B、Cを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料B 松山市における取り組み

- 松山市の若者の投票率が、全国と同じように低いという課題があったため、2014年2月から、松山市選挙管理委員会は、市内の専門学校生や大学生を選挙コンシェルジュに毎年任命し、選挙コンシェルジュによる啓発活動を行っている。
- 選挙コンシェルジュとなった学生たちが、市内の高校などで、期日前投票や模擬選挙などの主権者教育に関わる出前授業を行っている。
- 2023年には選挙コンシェルジュによるSNS啓発チームが立ちあげられ、10代、20代向けの選挙に関する投稿を行っている。

(「選挙コンシェルジュ10周年レポート」などより作成)

資料C 松山市の若者の政治的関心と投票行動



(注) 調査は松山市内の19歳から30歳を対象としている。
数字は四捨五入している。

(「2020年若者の投票行動に関する調査結果」より作成)

第五問 絵美さんは、社会科の授業で「九州地方の特色」について調べ、資料Aと略地図を作成しました。これをみて、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A九州地方の特色

自然

九州地方の特色

農業

工業

・山地や火山が広く分布し、①活火山も多い。

・暖流の影響により、冬でも比較的温暖な気候である。

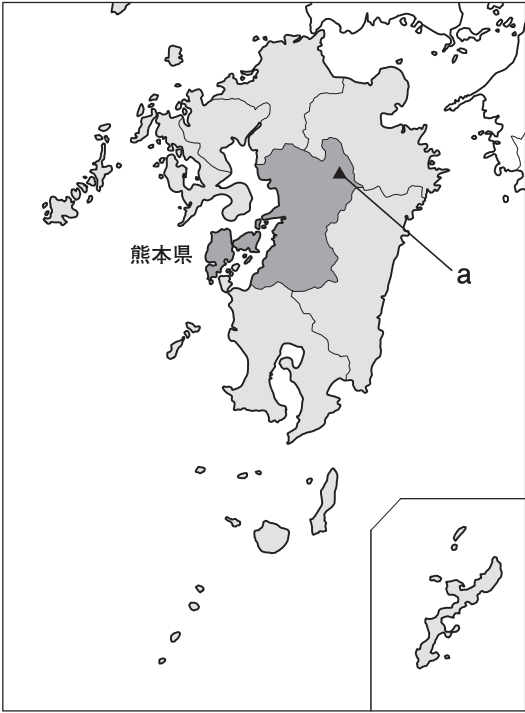
・九州北部では平野を中心に稲作がさかんに行われている。

・九州南部ではシラスと呼ばれる火山の噴出物が積もった台地が広がり、畑作や畜産がさかんである。

・②北九州工業地帯（地域）は、日本の重工業の発展を支えた。

・自動車工場や半導体関連工場が九州各地に建てられ、近年は、③熊本県に半導体関連企業が集まっている。

略地図



- 1 下線部①について、略地図中の活火山 a の周辺の地域の説明として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 南北に山地が連なり、その東側に広がる平野ではてんさいなどの畑作が行われている。
- イ 日本最大の湖が位置する低地であり、南北にのびる山地の間に盆地が広がっている。
- ウ 巨大なカルデラが広がり、火山の熱を生かした地熱発電所や温泉がみられる。
- エ 火山灰が積もってできた赤土におおわれた台地と、日本最大の平野が広がっている。
- 2 絵美さんは、九州地方の農業について調べを進め、資料Bを作成しました。資料Bから読みとれることとして、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B九州地方の各県の農業統計（2023年）

	田と畑の面積（ha）		米の収穫量（t）	小麦の収穫量（t）	牛肉の生産量（t）
	田	畑			
福岡県	63,500	14,900	157,400	70,000	26,070
佐賀県	41,600	8,340	115,700	50,900	2,380
長崎県	20,700	24,600	48,800	2,150	8,980
熊本県	64,000	40,300	155,400	19,100	14,960
大分県	38,500	15,500	89,900	9,790	3,340
宮崎県	33,900	29,800	71,400	330	25,670
鹿児島県	33,600	77,100	83,400	130	47,800
沖縄県	750	35,400	1,850	10	1,910

（注）数字は四捨五入している。

（「作物統計調査」などより作成）

- ア 長崎県は、田、畑の面積がどちらも、沖縄県よりも広い。
- イ 鹿児島県は、九州地方のなかで畑の面積が最大で、小麦の収穫量は最も少ない。
- ウ 宮崎県は、牛肉の生産量が九州地方のなかで最も多い。
- エ 福岡県は、米、小麦の収穫量ともに九州地方のなかで最も多い。

3 下線部②について、絵美さんは、北九州工業地帯（地域）について調べました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 北九州工業地帯（地域）の発展のきっかけとなった、1901年に鉄鋼の生産を始めた官営の施設を何というか、書きなさい。

(2) 絵美さんは、北九州工業地帯（地域）がある福岡県の製造品出荷額などの推移を調べ、資料Cを作成しました。資料C中の ～ にあてはまる品目の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

資料C 福岡県の製造品出荷額等の総額と上位3品目の推移（億円）

	1960年	1990年	2020年
総額	6,388	77,690	89,519
上位3品目 〔製造品出荷額等〕	X 〔2,400〕 化 学 〔 885〕 Y 〔 840〕	Z 〔9,539〕 X 〔9,003〕 電気機械〔7,441〕	Z 〔27,961〕 Y 〔10,396〕 X 〔 7,705〕

（注）数字は四捨五入している。

（「工業統計調査」などより作成）

- | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| ア | X - 輸送用機械 | Y - 鉄鋼 | Z - 食料品 |
| イ | X - 輸送用機械 | Y - 食料品 | Z - 鉄鋼 |
| ウ | X - 食料品 | Y - 鉄鋼 | Z - 輸送用機械 |
| エ | X - 食料品 | Y - 輸送用機械 | Z - 鉄鋼 |
| オ | X - 鉄鋼 | Y - 食料品 | Z - 輸送用機械 |
| カ | X - 鉄鋼 | Y - 輸送用機械 | Z - 食料品 |

4 下線部③について、絵美さんは調べを進め、資料D～Fを作成しました。半導体関連企業が熊本県に集まった理由として、資料D～Fからわかることを、簡潔に述べなさい。

資料D 半導体の使用と製造

- 半導体は、軽量で高価な部品であり、スマートフォンや自動車、タブレットなど、私たちの生活に関わるさまざまなものに使用されている。
- 半導体をつくる際には、わずかなゴミや不純物であっても水で洗い流す必要があることから、大量の水が必要となる。

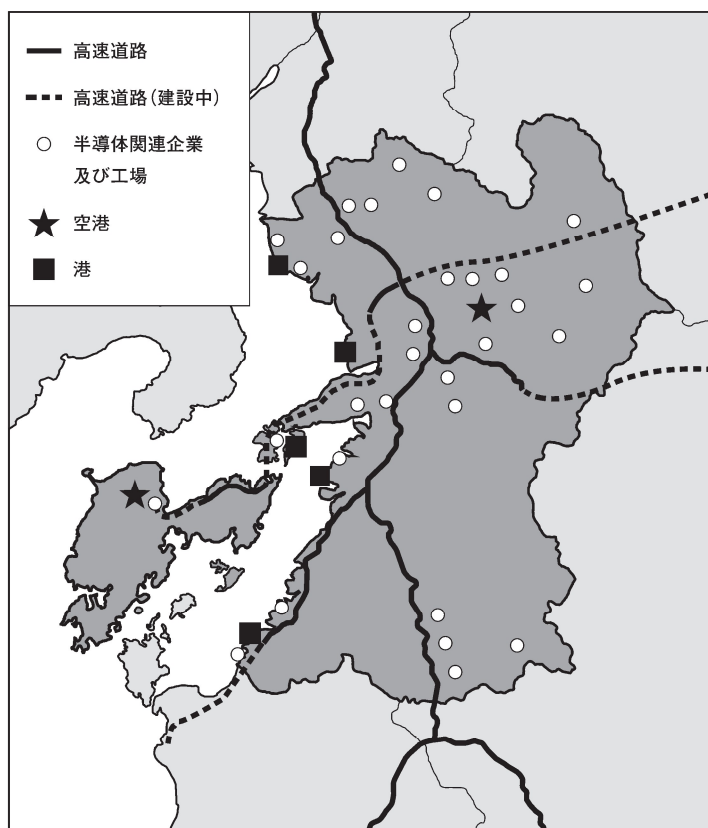
（「半導体理解促進ガイドブック」などより作成）

資料E 熊本の水資源

日本の平均降水量が、年間約1,700mmであるのに対し、熊本地域では年間約2,000mmの降水量がある。降雨の多さが地下水に恵まれる一因となっており、熊本市では、市民の使う水道水の100%が地下水でまかなわれている。

（「熊本県ホームページ」などより作成）

資料F 熊本県の交通網と半導体関連企業及び工場の立地



（「企業立地ガイド熊本」などより作成）

第 六 問 日本の労働環境の歴史について、資料A～Dをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料A 日本の産業革命と労働環境

①19世紀末から産業革命が始まると、多くの労働者は長時間労働を強いられた。大正時代には、各地で②労働運動や社会運動が活発化した。

資料C 日本国憲法の制定と労働者の権利

④第二次世界大戦後、政治や経済などの民主化が進められた。日本国憲法の制定により、労働者の権利が保障された。

資料B 戦時体制と労働者

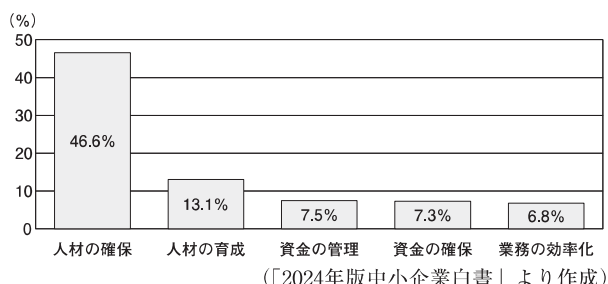
日中戦争の長期化を受け、③戦時体制を整えた。軍需品の生産が優先され、多くの労働者が軍需工場などに動員された。

資料D 働き方改革の推進

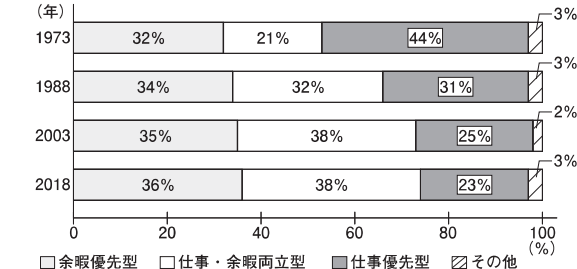
2019年に働き方改革に関する法律が施行され、大企業や⑤中小企業に働き方改革に取り組むことが促された。

- 1 下線部①に関連して、日本で産業革命が始まった19世紀末の世界のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア フランスでナポレオンが皇帝となった。 イ 日本と清との間で日清戦争が起きた。
- ウ アヘン戦争でイギリスが清に勝利した。 エ 中国で辛亥革命が起こり中華民国が成立した。
- 2 下線部②について、大正時代の労働運動や社会運動に関係することがらについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア シベリア出兵による米の急激な値上がりに対して、米の安売りを求める騒動が全国で起きた。
- イ 足尾銅山で起きた鉱毒被害を受け、田中正造が銅山の操業停止を求めて活動を始めた。
- ウ ポーツマス条約の内容に不満を持った国民が、政府を激しく批判した。
- エ 農地改革によって、多くの小作人が農地を手に入れ自作農となった。
- 3 下線部③について、政府が議会の承認なしに、労働力や物資を戦争に動員することを目的として、1938年に制定された法律を何というか、書きなさい。
- 4 下線部④について、第二次世界大戦後の日本の労働環境や生活環境に関連するできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
- ア 労働基準法が制定され、労働時間や賃金、休日などの労働基準が定められた。
- イ 男女雇用機会均等法が制定され、雇用や昇進などの職場での男女平等が定められた。
- ウ 公害対策基本法が制定され、公害を防止するための国や企業の役割などが定められた。
- 5 下線部⑤について、現在の日本において、中小企業が働き方改革に取り組む目的について、資料E～Gを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料E 中小企業が考える最も優先度が高い経営課題



資料F 仕事と余暇に関する労働者の意識の変化



(注) 数字は四捨五入している。
(「令和7年版労働経済の分析」などより作成)

資料G 中小企業が取り組む働き方改革の事例と職場の変化

- 月給及び休憩時間はそのまま、全従業員の勤務時間を30分短縮した。
- 時間単位で休暇を取得できる制度を導入するなど、休暇をとりやすい環境を整えた。
- 勤務時間内に仕事が終わるように、業務効率化のための知恵を出し合う雰囲気が生まれた。

(「中小企業における働き方改革取組事例集」より作成)

令和8 (3) 社会正答表

備考欄	配点	第 一 問	
	15		
	3	1	ウ
	3	2	ウ → イ → ア
	3	3	拒否権
	3	4	エ
	3	5	イ

備考欄	配点	第 二 問	
	17		
	3	1	ア
	3	2	エ
	3	3	焼畑農業
	3	(1)	イ
	5	4 (2)	(例) オーストラリアでは、第二次世界大戦後、英語を母国語としない移民が増加し、これらの人々に対して公用語である英語を学ぶ機会を提供することで、移民が自立して生活したり働いたりできるようにするため。

備考欄	配点	第 五 問	
	17		
	3	1	ウ
	3	2	エ
	3	3 (1)	八幡製鉄所
	3	(2)	オ
	5	4	(例) 熊本県は、半導体を製造するのに必要な水資源が豊かであるだけでなく、空港や高速道路、港が整備されており、半導体の輸送ルートが確保されているから。

備考欄	配点	第 三 問	
	17		
	3	1	イ
	3	2	ウ
	3	3	イ → ウ → ア
	3	4	大政奉還
	5	5	(例) 選挙権が納税額や性別により制限されている状況を改善して、より多くの国民に選挙権が与えられ、広く政治に参加できるようにするため。

備考欄	配点	第 四 問	
	17		
	3	1	ウ
	3	2 (1)	公職選挙法
	3	(2)	イ
	3	3	ア
	5	4	(例) 政治的関心が高いほど、投票行動につながる傾向があるため、選挙コンシェルジュによる出前授業やSNSでの投稿などを通じて、若者の政治的関心を高め、若者の投票率向上を目指しているから。

備考欄	配点	第 六 問	
	17		
	3	1	イ
	3	2	ア
	3	3	国家総動員法
	3	4	ア → ウ → イ
	5	5	(例) 中小企業では人材の確保が課題となっており、仕事と余暇の両立や余暇を優先する労働者の意識の変化に応じて、業務の効率化や勤務時間の短縮、休暇制度の充実を図り、人材の確保につなげようとしている。

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

1 出題のねらいと内容

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの知識及び事象を数学化したり、数学的に解釈、表現・処理したりする技能並びにそれらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、数と式についての基礎的な知識と計算する力、ヒストグラムから相対度数を求める力及び空間図形の性質から線分の長さを求める力をみようとした。

第二問では、起こり得る場合の数を考察し確率を求める力、正五角形の性質と平行線の性質を利用して角の大きさを求める力、関数の変域を求める力及びグラフの特徴を捉え比例定数を求める力、与えられた事象から規則

性を見いだし数学化して論理的に考察する力をみようとした。

第三問では、2種類の飲料の販売数と製造の手順を素材とし、条件を整理して一次方程式を立式し処理する力、水と液体原料をタンクに入れる時間と量との関係をグラフに表現する力及び変化する二つの数量の関係を論理的に考察して処理する力をみようとした。

第四問では、三平方の定理から線分の長さを求める力、二つの三角形が相似であることを二等辺三角形の性質から論理的に考察し表現する力、相似な三角形に着目して線分の長さを求める力及び円周角の定理の逆や相似な三角形を見いだし論理的に問題を解決する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞数と式、図形、関数、データの活用
の基礎事項についての問題

無理数を数量として捉えること、相対度数の意味を理解することに課題

6 示された無理数よりも小さい自然数をすべて答える問題。正答率は53.5%で、根号の中の数6よりも小さい自然数をすべて答えた誤答が多かった。授業で無理数を扱う際は、数直線上に点をとり観察するなど、無理数の数量を実感させ、数の概念が理解できるような工夫が望まれる。

7 示されたヒストグラムから、中央値がふくまれる階級の相対度数を求める問題。正答率は51.5%で、中央値がふくまれる階級やその階級値を答えた誤答が多かった。授業でデータを扱う際は、示されたヒストグラムなどから、データの傾向を読み取り、その結果を基

に予測や判断したことを説明する活動を通して、相対度数などの必要性や意味を理解できるような工夫が望まれる。

＜第二問＞4領域の基礎事項についての問題及び数学的な見方・考え方を働かせる問題

図形の性質を組み合わせで考察すること、二次関数の式とグラフの概形を相互に関連付けて考察すること、規則性を考察し立式を行うことに課題

2 平行線の性質と三角形の外角の和の性質を用いて、多角形の角度を求める問題。(1)は、正五角形の内角の性質を用いて角度を求める問題。正答率は70.1%で、多角形の内角の性質は理解できているといえる。(2)は、平行線の性質を用いて角度を求める問題。正答率は29.6%で、無答率は19.4%であった。図に

示されている角度と(1)で求めた角度を足した誤答が多かった。内角の性質と平行線の性質を組み合わせるができなかったと推察される。図形をよく観察し条件や性質を整理して、問題を段階的に解決する力を育成したい。

3 (1)は、与えられた x の変域に対応する y の変域を求める問題。正答率は63.2%で、 x の変域の端点を代入した誤答が多かった。(2)は、放物線の対称性とグラフ上の点を通る直線の傾きを利用し、比例定数を求める問題。正答率は24.7%で、無答率は第二問の中で最も高い31.5%であった。誤答としては正負を誤った解答が多く、比例定数の正負とグラフの概形を関連付けて考察することに課題があるといえる。授業でグラフを扱う際は、ICT機器などを用いて視覚的に捉える活動を取り入れ、二つの数量関係の変化や対応の特徴を考察する力を育成したい。

4 (2) 規則性について考察し、正方形に並べたタイルのうち、色が塗られていないものの個数を求める問題。正答率は46.8%で、立式をせず、(1)の結果から全体のタイルの数を5で割ったと推察される誤答が多かった。授業で規則性を扱う際は、予想を立て、文字式を用いて予想が正しいことを説明する活動を取り入れ、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を育成したい。

＜第三問＞数と式、関数の融合問題

与えられた条件を正しく読み取り、数学的に表現したり考察したりすることに課題

1 (1)は、条件を整理して文字式を立式する問題。正答率は48.0%であった。飲料Aを飲料Bの1.5倍仕入れていることは立式できているが、10本売れ残ったことまでは立式できていない誤答が多かった。(2)は、立式した

ものを処理する問題。正答率は17.9%であった。生徒の経験に基づいた場面を設定したり興味のある題材を取り上げたりして、数学的に表現するよさを実感させ、日常生活や社会の事象に数学を活用する力を育成したい。

2 (3) グラフの交点の座標を用いて2つの飲料の製造量が等しくなる時間を求める問題。正答率は19.1%で、グラフが交わるときに製造量が等しくなることは捉えられていたが、グラフから文字式を立式できなかったと推察される誤答が多かった。必要な情報を式やグラフに表して、考察したことを説明する活動を取り入れ、問題解決に必要な情報を適切に読み取り、数学的に考察する力を育成したい。

＜第四問＞図形についての問題

相似であることを論理的に筋道を立てて表現すること、合同な三角形を多面的に捉え考察することに課題

2 二つの三角形が相似であることを、円の接線の性質と二等辺三角形の底角の性質を用いて証明する問題。円の接線と、接点を通る半径が垂直であることは記述できているが、二等辺三角形の底角の性質を用いて二つの角が等しいことを記述できていない誤答が多かった。授業で証明を扱う際は、証明の根拠を説明し合ったり確認したりするなど、生徒同士で証明を評価・改善する活動を取り入れ、筋道を立てて表現する力を育成したい。

4 付加された条件の下で、円周角の定理を用いて、合同な三角形の関係を見だし、面積を求める問題。無答率は58.8%と全問題の中で最も高かった。合同な三角形に着目できず、線分の長さを求めることができなかったと推察される。図形を多面的な視点で捉え、合同な三角形の対応関係を見だし、筋道を立てて考察する力を育成したい。

問題				正答率→	←無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~48点)
第一問	1	計算	整数の加減	98.0%	0.0%	98.0%	a: 99.7% b: 99.1% c: 95.1%
	2	計算	分数を含む乗法	87.2%	1.2%	87.8%	a: 96.6% b: 93.2% c: 73.9%
	3	計算	整式の加減	88.8%	0.7%	88.9%	a: 97.6% b: 93.5% c: 75.8%
	4	求値	反比例	69.5%	2.0%	69.5%	a: 96.7% b: 78.6% c: 34.5%
	5	計算	連立方程式	84.0%	3.6%	84.7%	a: 97.1% b: 92.4% c: 65.0%
	6	求値	無理数	53.5%	4.1%	54.1%	a: 81.9% b: 54.0% c: 28.7%
	7	求値	相対度数	51.5%	6.8%	51.6%	a: 84.2% b: 54.9% c: 18.2%
	8	求値	中点連結定理	53.6%	7.7%	53.8%	a: 86.7% b: 57.3% c: 19.8%
第二問	1	(1) 求値	確率	92.7%	0.5%	92.8%	a: 99.4% b: 96.5% c: 82.7%
		(2) 求値	確率	61.4%	3.8%	62.3%	a: 81.9% b: 66.6% c: 39.6%
	2	(1) 求値	角の大きさ	70.1%	4.6%	70.1%	a: 95.7% b: 77.9% c: 38.2%
		(2) 求値	角の大きさ	29.6%	19.4%	29.6%	a: 60.4% b: 24.6% c: 6.8%
	3	(1) 求値	関数 $y = ax^2$	63.2%	6.9%	63.6%	a: 92.5% b: 70.8% c: 29.4%
		(2) 求値	関数 $y = ax^2$	24.7%	31.5%	24.7%	a: 54.2% b: 19.2% c: 3.6%
	4	(1) 求値	規則性	77.4%	0.6%	77.4%	a: 89.6% b: 79.6% c: 63.8%
		(2) 求値	二次方程式	46.8%	13.2%	46.8%	a: 75.2% b: 44.6% c: 23.2%
第三問	1	(1) 式表現	文字式	48.0%	10.1%	48.4%	a: 79.3% b: 49.4% c: 19.1%
		(2) 求値	一次方程式	17.9%	37.8%	20.2%	a: 50.3% b: 11.3% c: 2.0%
	2	(1) 求値	比例	85.3%	5.7%	85.3%	a: 96.8% b: 89.1% c: 70.6%
		(2) グラフ表現	一次関数	57.3%	12.6%	61.1%	a: 89.1% b: 64.4% c: 31.9%
		(3) 求値	一次関数	19.1%	35.5%	19.3%	a: 48.9% b: 10.7% c: 1.3%
第四問	1	求値	三平方の定理	70.4%	4.9%	70.4%	a: 95.5% b: 79.2% c: 37.9%
	2	証明	三角形の相似の証明	23.7%	12.7%	35.7%	a: 69.5% b: 32.2% c: 8.4%
	3	求値	三角形と比	11.8%	27.9%	11.8%	a: 32.3% b: 4.9% c: 0.5%
	4	求値	三角形の面積	1.4%	58.8%	1.4%	a: 4.4% b: 0.1% c: 0.0%
計						50.7%	a: 73.4% b: 51.1% c: 29.3%

令和 8 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
数 学

第 一 問 次の 1 ～ 8 の問いに答えなさい。

1 $-7 + 2$ を計算しなさい。

2 $(-3)^2 \times \frac{5}{6}$ を計算しなさい。

3 $4(a + 2b) - 2(3a - b)$ を計算しなさい。

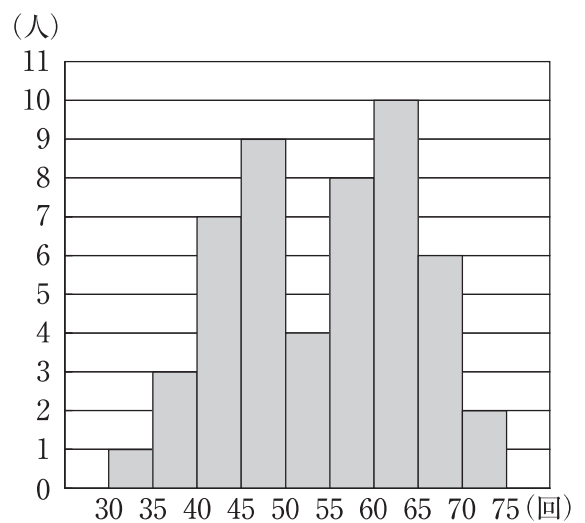
- 4 下の表は、反比例 $y = \frac{a}{x}$ について、 x の値と y の値との関係を表したものです。□ にあてはまる数を求めなさい。

x	...	-2	...	0	...	6	...
y	...	□	...	×	...	3	...

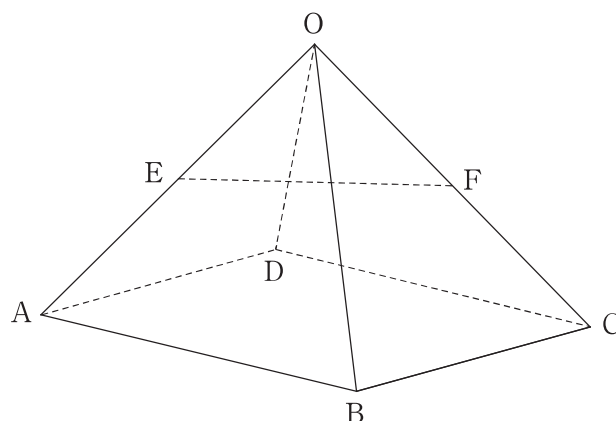
- 5 連立方程式 $\begin{cases} 2x + y = 4 \\ 3x - 2y = 13 \end{cases}$ を解きなさい。

- 6 $\sqrt{6}$ より小さい自然数をすべて答えなさい。

- 7 下の図は、ある中学校の2年生 50 人の反復横とびの記録を、階級の幅を 5 回として、ヒストグラムに表したものです。たとえば、30 回以上 35 回未満の階級の度数は 1 人です。
このヒストグラムから、中央値がふくまれる階級の相対度数を求めなさい。



- 8 下の図のような、底面が1辺6 cmの正方形で、側面がすべて正三角形である正四角錐があります。辺OA、辺OCの中点をそれぞれE、Fとしたとき、線分EFの長さを求めなさい。



第 二 問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 下の図のような、1、2、3、4、5の数字が1つずつ書かれた5枚のカードがあります。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

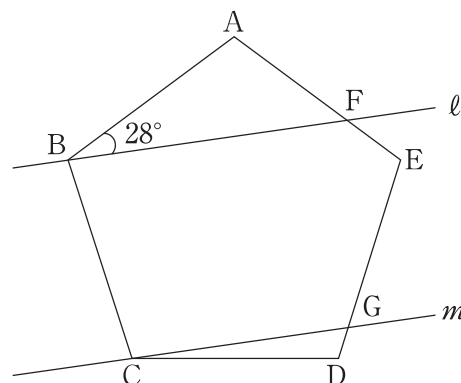


- (1) 5枚のカードをよくきってから、1枚取り出します。このとき、取り出したカードに書かれた数が奇数である確率を求めなさい。
- (2) 5枚のカードをよくきってから、1枚ずつ2回続けて取り出します。1回目に取り出したカードに書かれた数を十の位の数字、2回目に取り出したカードに書かれた数を一の位の数字として、2けたの整数をつくります。このとき、できる2けたの整数が、3の倍数になる確率を求めなさい。ただし、取り出したカードはもとにもどさないものとします。

- 2 下の図のような、正五角形ABCDEがあります。辺AE上に、点Fを $\angle ABF = 28^\circ$ となるようにとり、点Bと点Fを通る直線を ℓ とします。また、点Cを通して直線 ℓ に平行な直線を m とし、直線 m と辺DEとの交点をGとします。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) $\angle FBC$ の大きさを求めなさい。



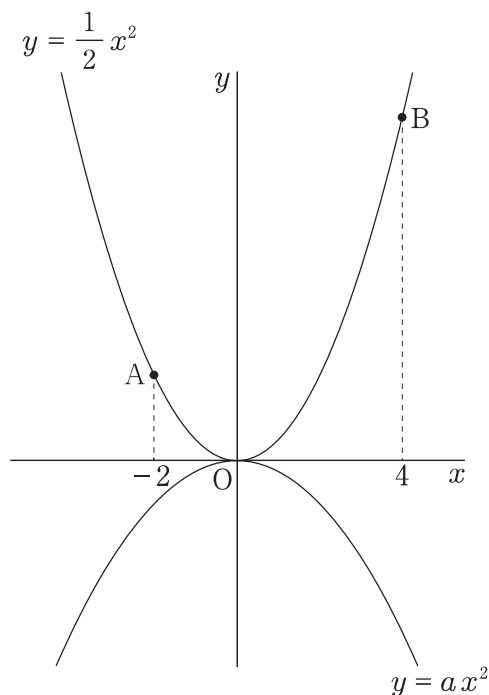
- (2) $\angle CGE$ の大きさを求めなさい。

- 3 下の図のような、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ と関数 $y = ax^2$ のグラフがあります。関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に、 x 座標がそれぞれ -2 、 4 である 2 点 A、B をとります。ただし、 $a < 0$ とします。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ について、 x の変域が $-2 \leq x \leq 4$ のとき、 y の変域を求めなさい。

- (2) 関数 $y = ax^2$ のグラフ上に、点Bと x 座標が等しい点Cと、点Cと y 座標が等しく x 座標が異なる点Dをとります。2点A、Dを通る直線の傾きが3であるとき、 a の値を求めなさい。



- 4 小さい正方形のタイルをすきまなく並べて、 n 段 n 列の正方形をつくり、下の【規則】にしたがって色を塗ります。

【規則】

1 段目の 1 列目にあるタイル、2 段目の 2 列目にあるタイル、3 段目の 3 列目にあるタイル、
…、 n 段目の n 列目にあるタイルに色を塗る。

下の図は、タイルを並べて、3 段 3 列の正方形をつくり、【規則】にしたがって色を塗ったものです。

あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

	1 列 目	2 列 目	3 列 目
1 段目			
2 段目			
3 段目			

- (1) 6 段 6 列の正方形をつくり、【規則】にしたがって色を塗りました。このとき、色が塗られていないタイルの枚数を求めなさい。

- (2) n 段 n 列の正方形をつくり、【規則】にしたがって色を塗りました。色が塗られていないタイルの枚数が 240 枚となるとき、 n の値を求めなさい。

第 三 問 良太さんは、2 種類の飲料A、B について、ある店での販売数と工場で製造する手順を調べました。

次の 1、2 の問いに答えなさい。

- 1 良太さんは、ペットボトル入りの飲料A と飲料B について、ある店での販売数を調べました。この店では、飲料A の本数が飲料B の本数の 1.5 倍となるように、飲料A と飲料B を仕入れました。仕入れた翌日に、すべての飲料A と飲料B を店頭に並べて販売したところ、飲料B はすべて売れましたが、飲料A は 10 本売れ残りしました。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、飲料A、B ともに仕入れ前には店にないものとします。

- (1) この店で、仕入れた翌日に飲料B が売れた本数を x としたとき、飲料A が売れた本数を x を使った式で表しなさい。

- (2) この店では、飲料A の値段は 1 本 140 円、飲料B の値段は 1 本 190 円です。仕入れた翌日の飲料A の売上げと飲料B の売上げの合計は 21000 円でした。仕入れた翌日に、飲料A が売れた本数と飲料B が売れた本数は、それぞれ何本ですか。

- 2 工場では、飲料A と飲料B のそれぞれについて、水と液体原料をタンクに入れ、製造しています。良太さんは、飲料A と飲料B を製造する手順について調べてわかったことを、次の のようにそれぞれまとめました。

【飲料A を製造する手順】

- ① 空のタンクPに水を毎分 20 L の一定の割合で入れ始める。
- ② 水を入れ始めてから 30 分後に、1 分あたりに入れる水の量を変えずに、タンクP に液体原料を毎分 20 L の一定の割合で入れ始める。
- ③ タンクP に入っている水と液体原料の合計の量が 1000 L になったときに、水と液体原料を入れることをやめる。

【飲料B を製造する手順】

- ① 空のタンクQ に、水を毎分 15 L の一定の割合で入れ始めるのと同時に、液体原料を毎分 20 L の一定の割合で入れ始める。
- ② タンクQ に入っている水と液体原料の合計の量が 700 L になったときに、液体原料を入れることをやめるのと同時に、水を毎分 10 L の一定の割合に変えて入れ続ける。
- ③ タンクQ に入っている水と液体原料の合計の量が 1000 L になったときに、水を入れることをやめる。

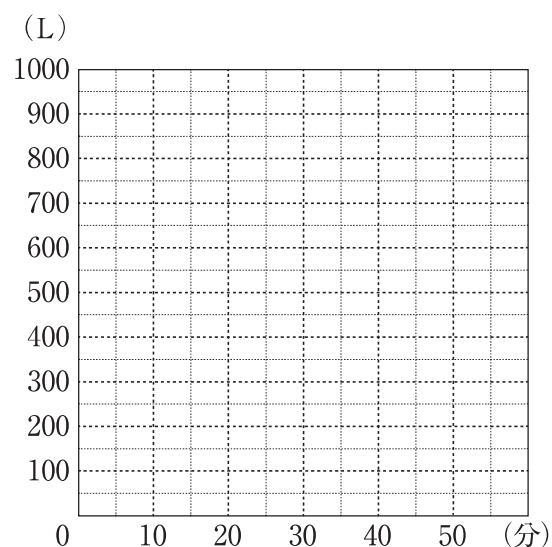
飲料A、B をこれらの手順で製造するとき、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 空のタンクPに水を入れ始めてから 30 分後の、タンクPに入っている水の量は何Lですか。

(2) 空のタンクQに水と液体原料を入れ始めてから水を入れることをやめるまでの、時間とタンクQに入っている水と液体原料の合計の量との関係を表すグラフを、**解答用紙の図**にかき入れなさい。

(3) 空のタンクPに水を入れ始めるのと同時に、空のタンクQに水と液体原料を入れ始めたところ、タンクPに入っている水と液体原料の合計の量と、タンクQに入っている水と液体原料の合計の量が等しくなるときがありました。タンクPに入っている水と液体原料の合計の量と、タンクQに入っている水と液体原料の合計の量が等しくなったのは、空のタンクPに水を入れ始めてから、何分何秒後ですか。ただし、タンクP、タンクQに入っている水と液体原料の合計の量が、どちらも 0 L のときとどちらも 1000 L のときは除きます。

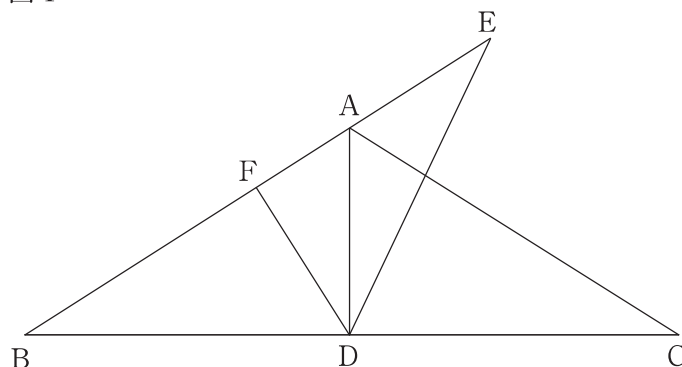
なお、下の図を利用してもかまいません。



第 四 問 図 I のような、 $AB = AC = 7 \text{ cm}$ 、 $BC = 12 \text{ cm}$ の二等辺三角形 ABC があります。点 A から辺 BC に垂線をひき、辺 BC との交点を D とします。また、辺 AB を A の方に延長した直線上に、点 E を $DB = DE$ となるようにとり、点 D と点 E を結びます。さらに、点 D から辺 AB に垂線をひき、辺 AB との交点を F とします。

次の 1 ～ 4 の問いに答えなさい。

図 I



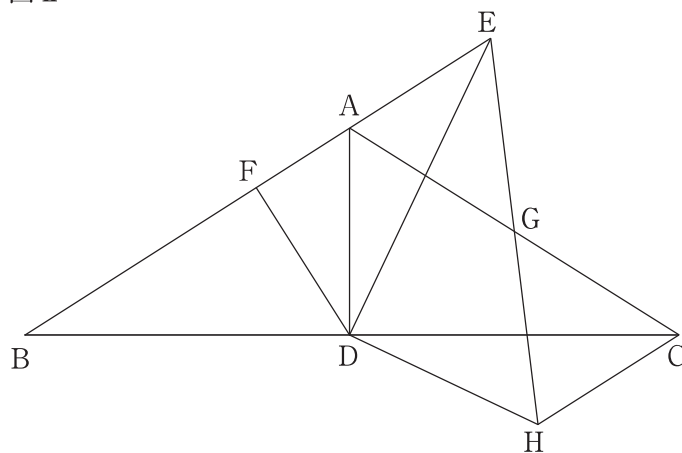
1 線分 AD の長さを求めなさい。

2 $\triangle ADC \sim \triangle DFE$ であることを証明しなさい。

3 線分 AE の長さを求めなさい。

4 図 II は、図 I において、辺 AC の中点を G とし、線分 EG を G の方に延長した直線上に、点 H を $EG = GH$ となるようにとったものです。また、点 H と点 C 、点 H と点 D をそれぞれ結びます。 $\triangle CDH$ の面積を求めなさい。

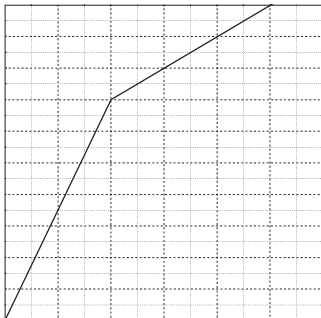
図 II



令和8 (2) 数 学 正 答 表

備考欄	配 点		第 一 問
	26		
	3	1	-5
	3	2	$\frac{15}{2}$
	3	3	$-2a+10b$
	3	4	-9
	3	5	$x=3、y=-2$
	3	6	1、2
	4	7	0.16
	4	8	$3\sqrt{2}$ [cm]

備考欄	配 点		第 二 問	
	32			
	3	1	(1)	$\frac{3}{5}$
	5		(2)	$\frac{2}{5}$
	3	2	(1)	80 [度]
	5		(2)	116 [度]
	3	3	(1)	$0 \leq y \leq 8$
	5		(2)	$-\frac{1}{4}$
	3	4	(1)	30 [枚]
	5		(2)	16

備考欄	配 点		第 三 問
	21		
	3	(1)	$1.5x - 10$ [本]
	4	1	[飲料A] 74 [本]
		(2)	[飲料B] 56 [本]
	3	(1)	600 [L]
採点基準と配点は各学校で定める。	5	2 (2)	(L)  0 10 20 30 40 50 (分)
			(3)

備考欄	配 点		第 四 問
	21		
採点基準と配点は各学校で定める。	4	1	$\sqrt{13}$ [cm]
	6	2	(例) $\triangle ADC$ と $\triangle DFE$ において 仮定から $\angle ADC = \angle DFE = 90^\circ \quad \cdots \quad \textcircled{1}$ $\triangle ABC$ は二等辺三角形だから $\angle ABC = \angle ACB$ つまり $\angle ABD = \angle ACD \quad \cdots \quad \textcircled{2}$ $\triangle DEB$ は二等辺三角形だから $\angle DEB = \angle DBE$ つまり $\angle DEF = \angle ABD \quad \cdots \quad \textcircled{3}$ $\textcircled{2}$ 、 $\textcircled{3}$ より $\angle ACD = \angle DEF \quad \cdots \quad \textcircled{4}$ $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{4}$ より、2組の角がそれぞれ等しいから $\triangle ADC \sim \triangle DFE$
	5	3	$\frac{23}{7}$ [cm]
	6	4	$\frac{69\sqrt{13}}{49}$ [cm ²]

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。